

ピラポ移住地概要 （イタプア県 ）

ピラポ移住地は、パラグアイ南東部のイタプア県ピラポ市に在り、首都であるアスンシオンから約400キロ地点、第二の都市であるエンカルナシオンから約70キロ地点に位置しています。ピラポ移住地のある、ピラポ市の総面積は約84,000ヘクタールであり、基幹作物は大豆で冬作には小麦が栽培されています。

ピラポ日本人会

ピラポでは日系移住者及びその子弟により日本人会が組織されています。ピラポ日本人会では、日本人会事務所の他、ピラポ日本語学校および附属幼稚園をはじめ、多目的ホール、ゲートボールやパークゴルフ、サッカーなどが楽しめる総合公園、グラウンド、診療所、薬局、碎石場、土木部基地、職員宿舎、相撲場、寿春会のいこいの家、日会林など、多彩な施設を運営管理しています。現在の日本人会会員は、239家族、1249人が在住しております(2008年5月現在)。



連絡先：社団法人 ピラポ日本人会

住所：パラグアイ国 イタプア県 ピラポ市 中央

電話：(0768)245-223

E-mail: piraponihonjinkai@hotmail.com - piraponihonjinkai@yahoo.co.jp

ピラポ日本語学校

日本語による正しい会話及び読み書きができ、日本語による教育を通じて日本の文化、習慣を身に着け、日系おパラグアイ人としての自覚を持つ人材を育て上げるため、1986年にピラポ日本語学校が設立されました。現在(2015年3月)、日系、ハーフ及び非日系を含め、幼稚園、小学校、中学校の全体で202名の生徒が日本語を学んでいます。なお、日本語学校の主な年間行事として、遠足、運動会、子供の日、入植際参加、授業参観、学習発表会等が行われています。



ピラポ診療所及び薬局

日本人会が経営する小規模私立診療所であり、入植当初（1961年）は日系移住者向けの医療ケアサービス機関として設立されましたが、現在では地域住民全般に対して医療サービスを提供しています。内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、歯科のサービス部門に加え、10床の入院室を有しています。また、診療所に加え、日本人会が経営する薬局もあります。

ピラポ農業協同組合

ピラポ移住地の日系人の主な事業は大型機械化農業による大豆及び小麦栽培です。多くの日系人はピラポ農業協同組合に加入しており、穀物を出荷しています。ピラポ農業協同組合に加入している組合員数は141名であり、大豆、小麦の生産規模は面積的及び生産量において最も大きい組合である。



ピラポ農業協同組合スーパー

ピラポ農業協同組合が経営するスーパーマーケットでは、日本食品（お米、日本のインスタント食品、日系人の方々の手作りの漬物類、現地の醤油等の調味料、お酒等）や外国から取り寄せた魚介類等も販売されており、（パラグアイは内陸国であるため、海の魚貝類は全てブラジルやチリから輸入されたものです）日本語での買い物ができます。



行き方

国道1号線：アスンシオンバスターミナルからエンカルナシオン市行の長距離バスで約5.5時間。エンカルナシオン市のバスターミナルからアルトパラナ県エステ市行きバスに乗り換え、国道6号線の66km地点（バスでエンカルナシオン市から約1時間）で降りる（タクシーを利用してピラポ市街地まで移動）。ラパス移住地から Graneros del Sur 経路でピラポ市街地に行くこともできます。

関連リンク

ピラポ移住地の歴史等のより詳しい情報は、以下のパラグアイ日本人会連合会のHPをご覧ください。

<http://rengoukai.org.py/ja/la-sociedad-nikkei/idonde-estamos/colonia-la-paz>

パラグアイ日本人会連合会：ピラポ日本人会を含むパラグアイ国内の9日本人会、文化協会と1日系団体で構成された法人（1970年9月8日創立）